

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 令和4年1月31日(月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	特異的IgG 鳥
検査コード	0774 (依頼・判定用) 0775 (セキセイインコIgG) 0776 (ハトIgG)
JLAC10	(0774: 判定) 5A110-0000-023-023-51 (0775: セキセイインコIgG) 5A110-0000-023-023-52 (0776: ハトIgG) 5A110-0000-023-023-53
診療行為コード	160226750
検体量	血清 0.5mL
保存・容器	冷蔵・A1→A2
実施料(判断料)	873点(免疫)
所要日数	4～6日
検査方法	FEIA法
基準値	判定 : (－) セキセイインコIgG : 8.00 mgA/L 未満 ハトIgG : 24.00 mgA/L 未満
実施施設	ビー・エム・エル

保険収載名称：鳥特異的IgG

保険注釈：診察又は画像診断等により鳥関連過敏性肺炎が強く疑われる患者を対象として、EIA法により、鳥特異的IgG抗体を測定した場合は、抗トリコスポロン・アサヒ抗体の所定点数を準用して算定する。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

《 解 説 》

本検査は、鳥関連過敏性肺炎の原因である鳥抗原に対する特異的IgG抗体価を測定する検査であり、鳥関連過敏性肺炎の診断補助を目的として、2021年6月1日より保険適用となりました。

鳥関連過敏性肺炎は過敏性肺炎の1つで、鳥の飼育や住居環境（住まい近くに鳥が多い環境がある等）、羽毛ふとん、ダウンジャケット、剥製、鶏糞肥料などが原因抗原となって発症します。

その過敏性肺炎は、環境中の特定の真菌、細菌、鳥由来のタンパク質、無機物などの抗原を繰り返し吸い込むことで発症するアレルギー性の間質性肺炎であるため、過敏性肺炎の診断後は原因となる抗原を回避することが重要となります。

本検査によって得られるセキセイインコ特異的IgG抗体価、ハト特異的IgG抗体価は、鳥関連過敏性肺炎の診断を補助し、過敏性肺炎の鑑別に有用と考えられます。